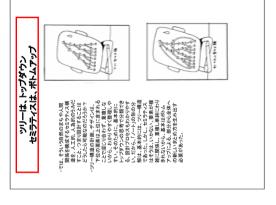
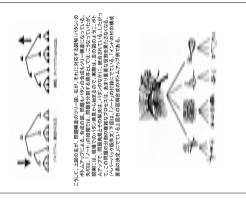




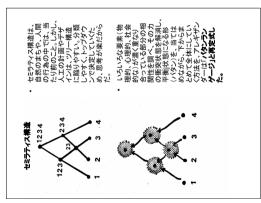
①いつも未完成(常に見直す)が前提一たが、各段階では、その時点で完成(全体性をもつように)しながら進みる。 ③直ぐに取り組める(具体的プロセスの存在)常に動機づけが必要。 ②ユーザー参加型(参加型思考の存在)が、不可欠。



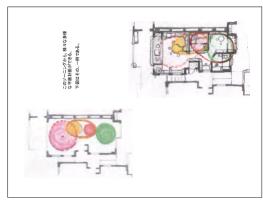


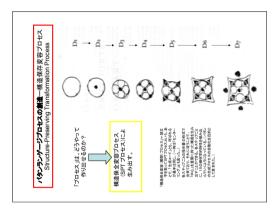


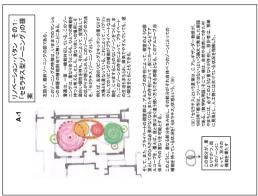


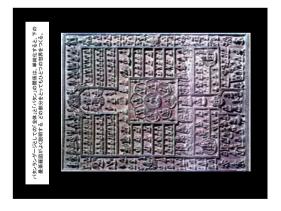


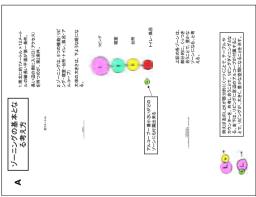




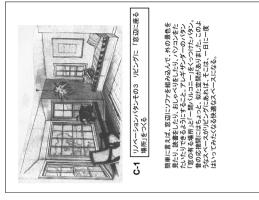


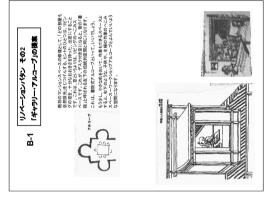


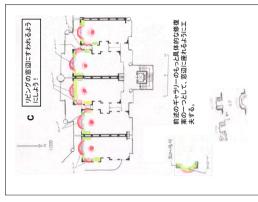


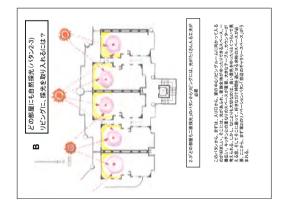




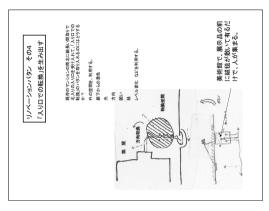


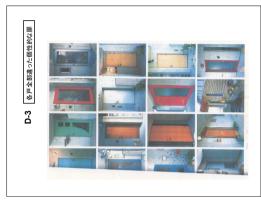


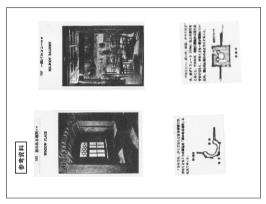


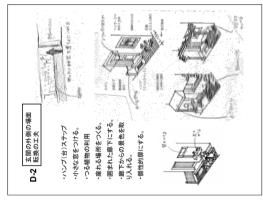


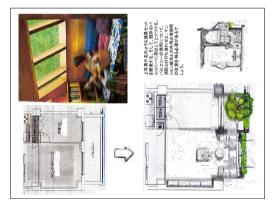


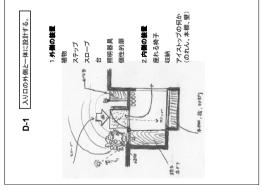


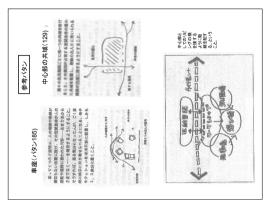




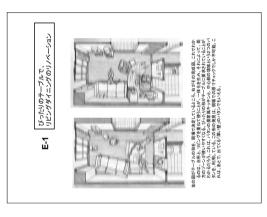


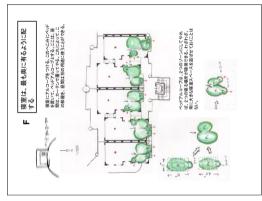


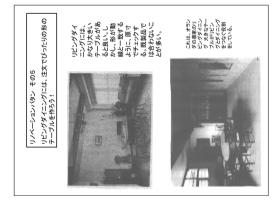




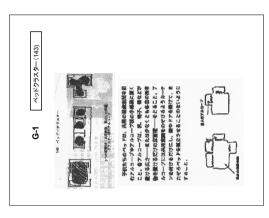


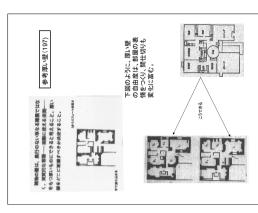




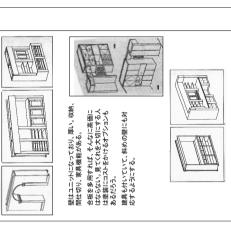


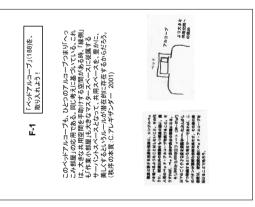














個月末によりリアナームの共産権の担任が決ち、 それば難である。この第の条件で、リフェームのかざすだこうである。 第一個中の日に、可能のではおりがものかあるが、それは条件をしない。 に、機能に関定性なって、おうことがない。 これを、発え方案が、てきないを対しては、インテリアーと た、その目標を引き、「できないだらか」である。

リノベーションパタンその7 「間仕切りは厚い壁で!」

